



たいよう ひるま きいろ ゆうがた あか
太陽は昼間は黄色いのに、どうして夕方になると赤くなるの

たいよう いろ ひかり ま
太陽はいろいろな色の光が混ざっている

たいよう ひかり なに いろ み いろ ひかり ま
太陽の光は、何も色がついていないように見えますが、いろいろな色の光が混ざってできています。

それは、たいよう ひかり わ
それは、太陽の光をプリズムで分けてみると、よくわかります。プリズムを通った太陽の
ひかり あか き みどり あお いろ わ
光は、赤、だいだい、黄、緑、青、あい、むらさきの7色に分かれます。それで、太陽の
ひかり いろ ひかり ま
光は、7色の光が混ざったものであることがわかります。

ゆうがた たいよう にし そら たいよう あか み
夕方になって、太陽が西の空にしずむころになると、太陽は、だんだん赤く見えてきます。
そのとき、たいよう ひかり ひるま くら ちきゅう くうき そう とお
そのとき、太陽の光は昼間に比べて、地球の空気の層をななめに通っています。

とお くうき そう なが
通りぬける空気の層が長くなる

たいよう ひかり くうき そう とお ひかり くうき そう なが あいだ とお
太陽の光が、空気の層をななめに通るということは、光が空気の層を長い間、通って
いるということです。

くうきちゅう め み すいじょうき たいよう
空気中には、目に見えないちりや水蒸気つぶなどが、たくさんふくまれています。太陽
ひかり なが あいだ くうき そう とお あか ひかり すいじょうき
の光が、長い間、空気の層を通っているときは、赤っぽい光のほかは、ちりや水蒸気
あたってちらばってしまい、くうき そう とお
空気の層を通りぬげにくくなります。

しかし、あか ひかり くうき そう とお くうき そう とお
しかし、赤っぽい光は、空気の層を通りぬげやすいので、空気の層を通りぬけているう
ちに、あか ひかり おお ゆうがた たいよう ひかり あか み
ちに、赤っぽい光のほうが多くなります。そのために、夕方の太陽の光は赤く見えるので
す。

(監修・国司 真)

